

訪問看護の提供体制等の充実について

1 議論の必要性

- これまでの本懇談会での議論において、在宅医療における訪問看護の果たす役割は非常に大きく在宅医療の要であるとの意見が出されてきた。
- 訪問看護実態調査では、平成28年度実施の結果と比較し、利用者数は約2倍に増え、それに対して事業所数も約2倍に増えるとともに事業所規模も拡大傾向となっている。今後の人口推計からさらなる訪問看護の需要増大が見込まれる。
- また、これまでから、訪問看護の人材確保や人材育成、事業所間あるいは病院との連携等の課題があるとされており、今年度実施の調査においても同様の結果が出ている。
- 一方、病院の医師や看護師等の在宅医療に関する理解促進や入退院支援の充実も大きな課題の一つとされており、一部の病院において、病院も在宅医療の一員であるとの認識のもと、病院看護師と訪問看護事業所等との連携に関する取組も進められてきている。
- それらを踏まえ、在宅療養者を支える看護職の連携促進と訪問看護の提供体制の充実等のための具体的対策について議論を行う。

2 実態調査から見える訪問看護の主な課題

- (1) 人材確保、利用者の確保、人材育成
 - ・ 募集しても応募がない
 - ・ 看護師の増員と新規利用者の拡大のバランスやタイミングが難しい
 - ・ 病院やケアマネジャー等が訪問看護の必要性を適切に判断してもらっているか
 - ・ 研修の時間確保が難しい
 - ・ 新人等への臨床研修の必要
 - ・ 病院の認定・専門看護師による技術指導 等
- (2) 病院看護師との連携
 - ・ 入院医療と在宅医療の切れ目のない連携のための病棟看護師・外来看護師と訪問看護師との連携の必要（看看連携）
 - ・ 病院の医師及び病棟看護師の在宅医療や訪問看護への理解促進の必要 等
- (3) 訪問看護事業所間の連携
 - ・ 事業所連絡会加入率の低下
 - ・ 安定的なサービス提供のための事業所間の連携の必要
 - ・ 事業所間の情報交換・連携・協力体制構築のためのネットワークの必要 等
- (4) 災害への備え
 - ・ 訪問看護事業所のBCP策定や訓練の実施、利用者や職員への連絡体制の確立等、災害に備えた体制強化の必要 等

3 論点

(1) 病棟看護師の在宅医療や訪問看護への理解促進

訪問看護を要する方への適切な訪問看護の提供や、入院医療から在宅医療への切れ目ない連携等のためには、病棟看護師の在宅医療や訪問看護への理解促進が重要とされる。

病棟看護師の在宅医療や訪問看護への理解促進のための取組の現状はどのようなものか。また、さらにどのような取組が必要か。

(2) 病棟看護師と訪問看護との連携促進

病院における入退院支援の充実や在宅医療への円滑な移行、また訪問看護や病院看護師の人材育成等のためにも、病棟看護師と訪問看護との連携促進が必要。

病棟看護師と訪問看護との連携のあり方や必要な取組は具体的にどのようなことか。

(3) 事業所間の情報交換や連携・協力体制の構築

事業所の安定的なサービス提供やケアの質の向上等のためにも、事業所間の顔の見える関係づくりが必要。

事業所間の情報交換や連携・協力体制構築のためにどのようなことが必要か。